

報道関係各位

2023年10月26日

小学校高学年向け「アクティオSDGs出張授業」を開催

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、2023年10月24日(火)に栃木市立三鴨小学校(栃木県栃木市)で小学校高学年を対象にSDGs出張授業を開催しました。



今回のSDGs出張授業は、アクティオの会社紹介から、建設機械レンタルが建設業界や社会、さらには、環境に対して、どのように役立っているのかを子どもたちに分かりやすく説明しました。また、最近注目を集めている、環境への負担軽減につながる使用済み食用油を再利用するバイオディーゼル燃料や遠隔操作で動くバックホーのデモを実施しました。

授業の後半では、SDGsをテーマに未来の建設機械についてグループでディスカッションしながら、話し合った内容を発表するプレゼンテーション大会など、子どもたちがSDGsを楽しく学べる1日となりました。

■アクティオ SDGs の取り組み

アクティオでは、全国各地で子どもたちに向けた体験学習や工場案内を実施しています。また、持続可能な社会創生のために創造的な教育を実践する現場の先生と生徒を応援するプロジェクト「SDGs for School」のパートナー企業として、その活動を支え、SDGs 目標 4【質の高い教育をみんなに】の実現を支援しています。



出張授業風景



グループディスカッション風景

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専

門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp